

2025/12/18

# 追分の学校を 考える会

第4回

Newsletters



## 【開催概要】

日時：R7年12月18日（木）

9:30-12:00

15:30-18:00

18:00-20:30

場所：追分中学校美術室

参加者数：合計28名

## 先進事例を学び、追分の 学校づくりのコンセプト案を作りました

第4回追分の学校を考える会は、12月18日3部制で開催し、延べ28名の皆様にご参加いただきました。今回は「未来の学校」を具体化すべく、道内外8校の視察報告を共有。先進事例をヒントに、子どもたちのリアルな声やこれまでの対話を結集させ、目指すべき姿を班ごとに「ビジョン」を描き出しました。さらに、AIも活用して各班のアイデアを統合し、追分らしい学びの風景を可視化。それらを基に、学校の合言葉となる「コンセプト（案）」を多数出し合いました。

ご参加いただいた皆様の熱い想いを整理・集約し、次回はいよいよコンセプトの完成を目指します。追分の未来を創る挑戦に、引き続きご注目ください！

## アイスブレイク (10年後の自分を語る)

今回のアイスブレイクでは、「カタルト」を使い、10年後の自己紹介をしました。ランダムに選ばれる3枚のカード（接続詞が書かれたカード）を使う難しさもありながら、しっかり考えて話す参加者を見て、笑い合う姿や、感心する姿など参加者同士すぐに心が打ち解け合っていたように感じました。



## 先進事例に学ぶ：全国8校の視察報告

教育委員会が視察した道内外の全8校の取り組みを共有しました。限られた時間の中で効率よく学ぶため、班のメンバーで手分けをして発表を聞き、学んだ内容を班に持ち帰って共有する「ジグソー法」形式を採用。インプットとアウトプットを繰り返すことで、多様な学びの形を一度に深めることができました。

### 軽井沢風越学園

風越学園は「あそぶ・まなぶ・つくる」を大事にする学校です。最大の特徴は、「マイプロジェクト」を中心にした時間割です。校舎に壁はなく、大きな図書館を中心に、異学年でみんながまざり合って学びます。先生は教える人ではなく、子どもの「やりたい」に寄り添うパートナーとして、子どもたちの「」になる、を支援しています。

### 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

ふたば未来学園は、震災・原発事故後の双葉郡で「変革者たれ」を理念に設立された中高一貫校です。探究学習を核に、地域課題を調べるだけでなく、演劇による表現を通して他者の立場や思いを理解する力を育てています。地域や外部人材と協働し、失敗を恐れず挑戦しながら、自分の価値観や生き方を見つけていく学びが特徴です。

### 大日向小・中学校

日本初の「イエナプラン教育」を実践する学校です。「誰もが大切にされる一人ひとりの人間」という理念のもと、1～3年生、4～5年生、中1～3年生と異学年で学びます。対話・遊び・学習（仕事）・行事の4つを大切に、子どもが自分で計画を立てて進める自律性と、みんなで話し合い協力し合う民主的な心を育む、温かな共同体のような学校です。

### ドルトン東京学園中等部・高等部

「自由」と「協働」を掲げるドルトン東京学園では、生徒の自主性を重んじる教育が行われています。特に、学年を超えた生活基盤である「ハウス」は、異年齢の交流を通じて社会性を育む大切な場となっています。自ら学習計画を立てる「アサインメント」や、納得いくまで探究する「ラボ」などの仕組みが、生徒たちの主体的な学びを支えています。

### 妙高市立新井南小学校

新潟県妙高市にある「妙高型イエナプラン教育」を導入している小学校です。元々過疎化が進んだ地域で複式学級の小規模特例校で、それぞれの学校の特徴を生かしたイエナプラン＝妙高型イエナプランを導入しています。公立なので先生の異動もありますが、妙高市では今後全ての公立学校にイエナプランを導入する方針です。

### 鹿追町立鹿追中学校・瓜幕中学校

鹿追町では、鹿追中学校・瓜幕中学校において、世界共通の教育プログラムである国際バカロレア（IB）を導入している。IBは、知識の習得だけでなく、自ら問いを立て、考え、伝える力を育てる学びであり、小規模校の特性を生かし、異学年交流を通じて生徒一人ひとりの主体性や表現力を伸ばしている教育が行われている。

### 青翔開智中学校・高等学校

鳥取にある中高一貫の私立学校である青翔開智は、2014年に開校しました。全ての教科学習は探究のためにあるというのがコンセプトで、高校3年時には論文を執筆します。卒業生の進学先の学部とその論文のテーマを合わせて紹介しているのも特徴的で、探究的な学びがその先の人生にもつながっていることを感じさせます。

### 川崎市子ども夢パーク

主に学校や家庭、地域の中に居場所を見いだせない子どもたちが利用する、「ありのままの自分でいられる場」を目指す公設民営の施設です。泥遊びができる広場や、学校外の居場所「えん」があり、1日の過ごし方は子ども自身が決めます。「何もしない」時間も尊重され、失敗を恐れず挑戦できる環境が守られています。



## 子どもたちの声 アンケートの集計と追分中学校生に共感する言葉に投票してもらいました

追分小中学校の児童・生徒の皆さんにも協力していただきました。全学年へのアンケートに加え、中学生には「考える会」で出たキーワードへの共感投票（シール貼り）や、新たなアイデアの書き出しを行ってもらいました。当日は、これら「子どもたちの本音」を道しるべに議論を進めました。



### 【アンケート結果】（一部抜粋）

回答数134人（小88、中46）

#### ■ 自分たちの学校は素晴らしい学校だ

84人 あてはまる  
36人 どちらかといえば当てはまる  
9人 どちらかといえば当てはまらない  
3人 当てはまらない

#### ■ いま住んでいる地域が好きである

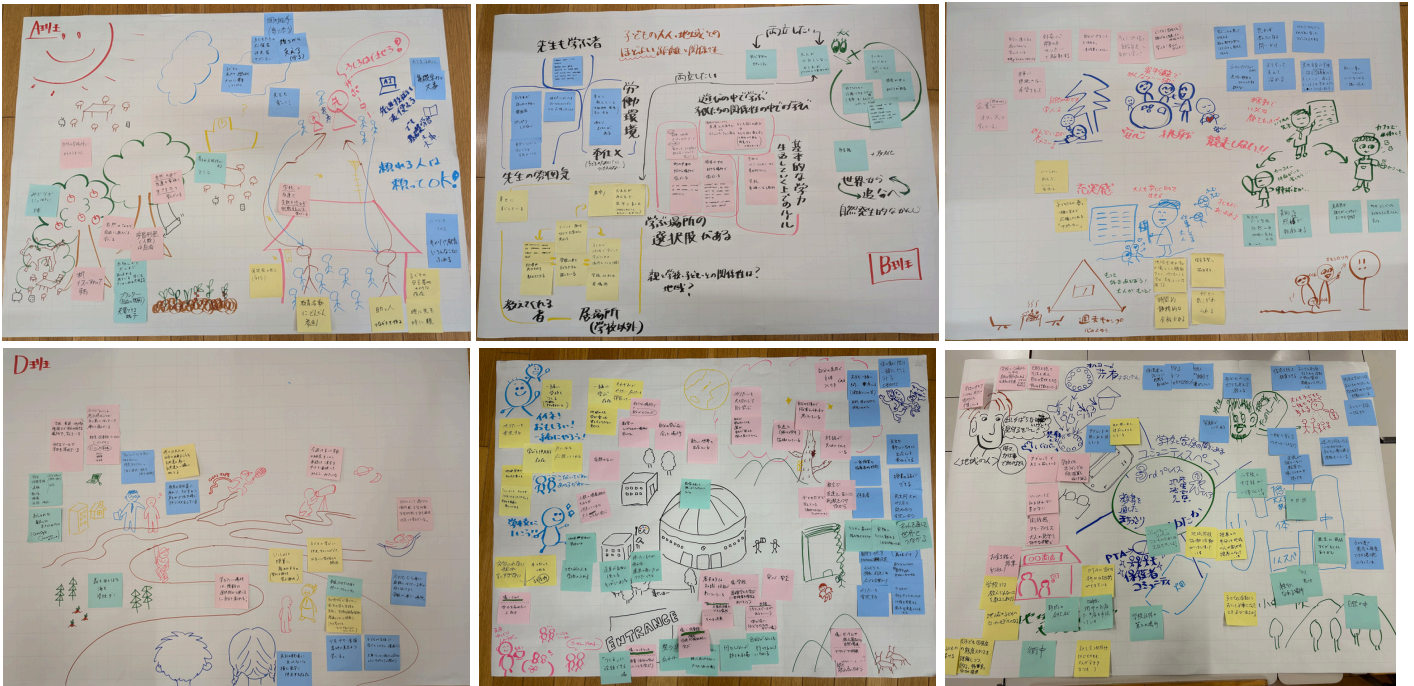
90人 あてはまる  
36人 どちらかといえば当てはまる  
5人 どちらかといえば当てはまらない  
2人 当てはまらない

#### ■ いまの自分を気に入っている

51人 あてはまる  
49人 どちらかといえば当てはまる  
25人 どちらかといえば当てはまらない  
30人 当てはまらない

## 仮ビジョンワークショップ

「子どもたちはどこで、どう学ぶのか?」「先生や地域の人々の役割は?」といった問いに対し、付箋に書き出したアイデアを模造紙で整理し、イメージを「ビジョン」として絵にしてみました。今回事務局で、これらの付箋をすべてAIに読み込ませてイラスト化してみました。すべてのグループのイメージを統合したところ、学校の外へ飛び出す授業や、地域の人に見守られ、先生が寄り添う追分らしい学びの姿が浮かび上がりました。



### AI作成のイメージ

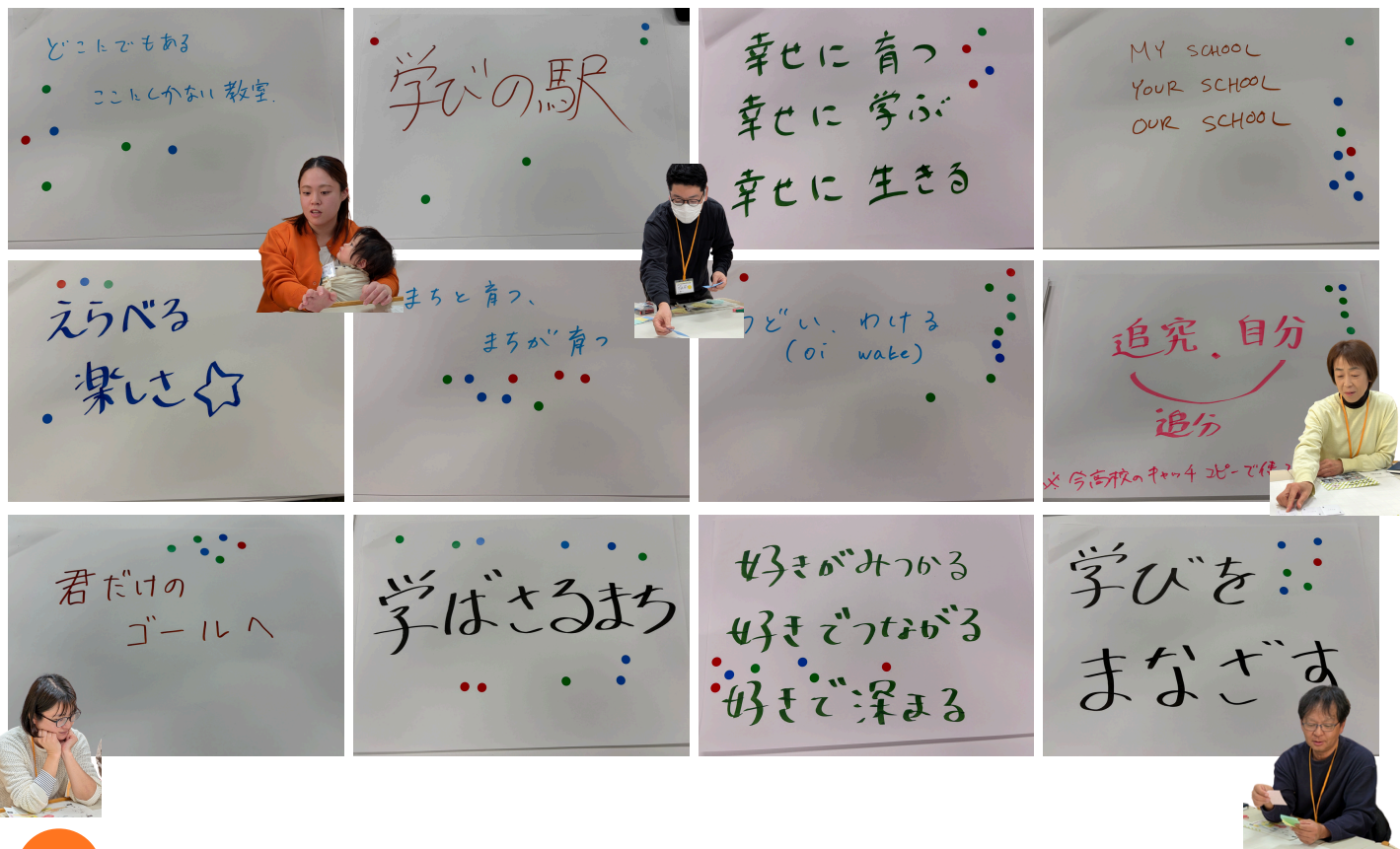
付箋の文言をAIに入れて、イラスト化してみました！





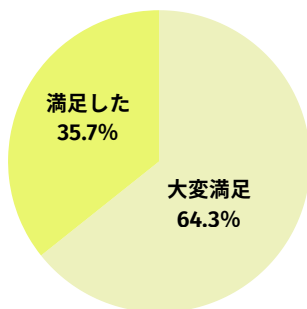
## コンセプトワード出し ビジョンを実現できる「キャッチフレーズ」を考えました

描き出したビジョンを象徴する「コンセプト（案）」を大量に出し合い、共感するアイデアに投票を行いました。今回いただいた数多くの案を整理・集約し、次回（第5回）でのコンセプト完成を目指します。



## 参加者の声 一番印象に残ったことを教えてください！

### 第4回目の満足度



- ・自分が何を大切に学びを作りたいか、みんなが何を大切にしているかがはっきりした時間になりました。
- ・新井南小学校を作った人達の先見の目がすごいと思った。
- ・ビジョンをイラストに表現することは難しかったが、イラストにすることによりビジョンを構造的に捉えることができたとともに、具体的な児童生徒、教師、地域の方々像が明確になった。
- ・子どもたちのアンケート結果
- ・大人として子どもを見守るときの、距離感が大切だとグループワークの中で話題になった。大人の見守る力が必要だと感じた。
- ・セキュリティと自由など、共存させたいけど線引きが難しいものが沢山あることに気づいた

（事後アンケートからの抜粋）

## 【今後のスケジュール】 5回目はいよいよコンセプトが完成します！

終了

9/28  
日曜日  
9:00-12:00

終了

10/28  
火曜日

終了

11/26  
水曜日

終了

12/18  
木曜日

5回目

1/17  
土曜日  
9:00~12:00

6回目

2/8  
日曜日  
9:00~12:00

第5回  
追分の学校を  
考える会  
申込フォーム



安平町教育委員会学校教育グループ TEL：0145-29-7036  
e-mail：gk-kyouiku@town.abira.lg.jp